

中学校保健体育科における 「コツ」と「テクノロジー」を活用した授業の可能性

—球技（ゴール型）を事例に—

谷塚光典・岩田靖・渡辺敏明・藤田育郎（信州大学学術研究院教育学系）
関谷北斗・中塚洋介・尾臺美彰（信州大学教育学部附属長野中学校）

概要：信州大学教育学部では、スポーツ庁「学校における体育・スポーツ資質向上等推進事業」の助成を受けて、運動感覚を教師と子どもが共に味わいながら「コツ」と「テクノロジー」を活用して「わかる」を「できる」につなぐ体育授業の開発を目指している。本研究では、中学校保健体育科の球技（ゴール型）を事例に、「コツ」と「テクノロジー」を活用することで「わかる」を「できる」につなげていく授業の可能性を検討する。

キーワード：新学習指導要領，主体的・対話的で深い学び，ICT活用，運動感覚，
附属学校との連携，タブレット端末

1 はじめに

信州大学教育学部では、スポーツ庁「学校における体育・スポーツ資質向上等推進事業」の助成を受けて、運動感覚を教師と子どもが共に味わいながら「コツ」と「テクノロジー」を活用して「わかる」を「できる」につなぐ体育授業の開発を目指している。

中央教育審議会「体育・保健体育，健康，安全ワーキンググループにおける審議の取りまとめ」では、「ICTの活用等により，課題の到達度を確認し，必要な知識を収集するとともに実践すること」とされている。また，2017年3月告示の新学習指導要領では，小学校体育科および中学校保健体育科の各領域等において，フォームの観察やグループの表現や踊りを観察すること等で，ICT活用について言及されている。

そこで，本研究では，中学校保健体育科の球技（ゴール型）を事例に，「コツ」と「テクノロジー」を活用することで「わかる」を「できる」につなげていく授業の可能性を検討する。

2 ICTを活用したこれまでの実践の成果

信州大学教育学部附属長野中学校においては，器械運動領域マット運動や球技領域ベースボール型等において，タブレット端末を活用した指導を行ってきている（関谷2018）。

（1）器械運動領域マット運動 「シンクロさせよう！集団マット」 3学年

この単元では，グループの仲間と自分が技を行う時の感覚を言語化した「コツ」を使ってアドバイスをし合う活動を位置付けている。自作の台に固定したタブレット端末で撮影して，集団マットの動画を見ながら，グループ内で「コツ」を使ったアドバイスをし合った。「天井に『ぐいーん』と引っ張られる感じ」等の仲間からの「コツ」を使ったアドバイスを受け，さらに，グループの演技を動画で確認することを繰り返すことによって，タイミングや位置の揃った演技に練り上げることができた。

（2）球技領域ベースボール型 「ブレイク・ベースボール」 3学年

この単元では，バッティングの技能に苦手意識を感じていた生徒が，同じグループの他の生徒からバッティングの動作について「コツ」を

使ったアドバイスを受けることに加えて、タブレット端末で撮影した動画を見ながら、練習を行った。「左足のつま先が『グリッ』となるように回す」というアドバイスを受けて、体重移動のさせ方を理解し、体重を移動させながら腰を回転させてバットを振り抜く動作を行うことができるようになった。

3 テクノロジーを活用したこれからの実践の可能性の検討

阿部 (2016) では、生徒の運動に対する自信や意欲が高めるために、ICT を活用して、協働的に課題発見や課題解決を図る指導を行っている。球技 (ネット型: バレーボール) の実践から、運動学習場面や話合いの場面の時間が確保され、生徒が協働的に課題発見や課題解決を図る学習を充実させることができたとしている。

また、鈴木ほか (2017) では、リアルな動画による学習成果の履歴により技能面や思考判断面での学習を促進したり、映像を各自がタブレット端末に入れて自宅に持ち帰って保護者と体育での学びを共有したりしている。

4 結論と今後の課題

小林 (2016 ; 2017) のように、トップ選手の指導にさまざまなテクノロジーが導入されている。今後は、その成果を初等中等教育における体育授業にも応用できると考えている。全国大会における発表では、球技 (ゴール型) における試行事例と成果を紹介したい。

付記

本研究の一部は、スポーツ庁 平成 30 年度「学校における体育・スポーツ資質向上等推進事業」の助成を受けたものである。

参考文献

阿部隆行 (2016) ICT を活用して協働的に課題発見や課題解決を図る指導の工夫ー球技「ネット型」の学習を通してー. 平成

27 年度東京都教員研究生カリキュラム開発研究報告. <http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/09seika/reports/kenkyusei/h27.html>

中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 体育・保健体育, 健康, 安全ワーキンググループ (2016) 体育・保健体育, 健康, 安全ワーキンググループにおける審議の取りまとめについて (報告)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1377094.htm

岩田靖 (2016) ボール運動の教材を創るーゲームの魅力をクローズアップする授業づくりの探究ー. 大修館書店, 東京

小林秀紹ほか (2016) シンポジウム: 競技選手・チームパフォーマンス向上に活かされる映像・データ分析. 日本体育学会第 67 回大会予稿集, pp. 58-59

小林秀紹ほか (2017) シンポジウム: トップアスリートの発掘・育成・強化への戦略的な取り組みとデータ分析. 日本体育学会第 68 回大会予稿集, pp. 44-45

文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 体育編.

文部科学省 (2017) 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 保健体育編.

関谷北斗 (2018) 「わかる」と「できる」を結び付ける体育指導の在り方: 「コツ」に焦点を当てた中学校保健体育の授業実践を通して. 平成 29 年度信州大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 (教職大学院) 実践研究報告書抄録集, pp. 41-44.

<http://hdl.handle.net/10091/00020481>

鈴木直樹ほか (2017) 体育の学習評価場面における ICT の利活用に関する実証的研究ーボール運動・球技領域に注目してー. 東京学芸大学教育実践研究推進本部 特別開発研究プロジェクト報告書 (平成 27 年度~28 年度) <http://www.u-gakugei.ac.jp/~suisin/report2017.html>